

今だからこそ、 大切な学びのときを。

私たちの重要な活動のひとつが、啓発活動です。
人の“いのち”と“こころ”を守るためにどう行動するのか。
一人でも多くの方に伝えるために、
さまざまなプログラムを用意しています。
地域や学校等で、赤十字プログラムをご活用ください。

“いのち”を守るための防災教育

いつどこで災害が起こってもおかしくない日本では、4歳の幼児であっても被害を回避する方法を把握しておくことが大切。日本赤十字社では、災害に強い地域づくりを進めています。

ぼうさいまちがいがし きけんはっけん! (未就学児向け(4歳から))

災害時の危険(場所・行動)について伝え、自分の身を守るための基本的な知識や判断力を育みます。

まもるいのち ひろめるぼうさい (小・中・高校生向け)

いのちの大切さを学び、「気づき・考え・実行する」を重視した内容で、コミュニケーション力・想像力などを養い防災力を高めるグループワークプログラムです。

屋内での安全対策 (奉仕団・自治会・地域向け)

家具や家電などの転倒・落下・移動防止策を考え、自宅の安全対策に役立つ気づきや知識を学べます。

避難所体験ゲーム (奉仕団・自治会・地域向け)

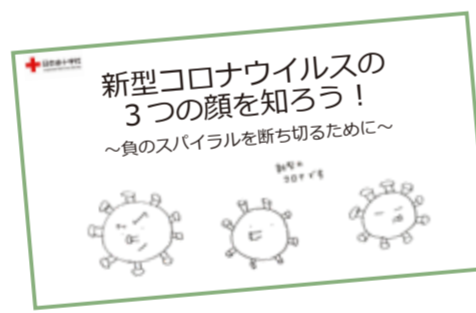
避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、生活空間の確保、トイレ問題、ペット対応などを机上で模擬体験できます。

“こころ”を守るための人権教育

新型コロナウイルスによる不安や恐れから生まれる差別・偏見は、人権侵害に繋がることもあります。学校や職場で問題となっている「いじめ」など、日本赤十字社では、一人ひとりの尊厳を守る啓発活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!

子どもから大人まで幅広い年齢層に分かりやすい内容で、新型コロナウイルスがもたらす「病気」「不安」「差別」の3つの感染症について学ぶことができます。



とっさの手当てが“いのち”を救う

健康で安全な生活を送るため、AEDを使用した「救急法」をはじめとする講習会を、県内各地で開催し、知識と技術の普及に努めています。

救急法

日常生活における事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED(自動体外式除細動器)を用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの固定、搬送、災害時の心得などの知識と技術を習得できます。

水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。

幼児安全法

乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当て、病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当てなどの知識と技術を習得できます。

健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に役立つ介護技術を習得できます。

救いを託されている。



活動資金と義援金について

- 日本赤十字社は、皆さまからお寄せいただく「活動資金」によって活動しています。
- 災害が発生したときに受け付ける「義援金」は、義援金配分委員会に全額送金し、市町村を通じて被災された方々へ届けられます。

活動資金

義援金



日本赤十字社など

(全額送金)

義援金配分委員会

被災市町村

被災者

※事務経費については、日本赤十字社が負担しています。

災害救護活動など 日本赤十字社の人道的活動

災害時は、医療救護、こころのケア、救援物資(毛布・安眠セット・緊急セット)の配布など。平時は、救急法等の講習普及、赤十字奉仕団や青少年赤十字の活動など様々な事業に、大切にに使わせていただきます。

赤十字への寄付方法をお選びいただけます



自宅の玄関で

自治会役員や赤十字奉仕団の皆さまのご協力のもと、戸別訪問による募集を行っています。



市町村窓口で

各市町村の赤十字窓口で随時受け付けています。



口座振替・クレジットカードで

ご希望の口座から自動引き落としでご寄付いただけます。また、日本赤十字社のホームページからクレジットカード決済がご利用いただけます。



遺贈など

遺贈及び相続財産による寄付を受け付けています。これらの寄付は相続税の優遇措置が受けられます。

税制上の優遇措置を受けられます

個人によるご協力の場合

所得税の控除

個人住民税の控除

相続税の非課税

法人(団体)によるご協力の場合

法人税の控除

- ・特定公益増進法人に対する寄付金
- ・指定寄付金

※詳しくは最寄りの税務署にご相談ください。

日赤活動資金申込書 (太枠内をご記入ください)

金額	円	申込年月日	令和 年 月 日
住所	〒 -		
氏名	フリガナ		
地区名 町会名 等	【地区】: 【町会】: 【組等】:	取扱者印	

【個人情報について】日本赤十字社長野県支部は、日赤活動資金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、日赤活動資金募集のためにのみ使用します。

日赤活動資金にご協力ありがとうございました。

領収書	
金額	円
氏名	様
上記金額を領収しました。	
令和 年 月 日	取扱者印
日本赤十字社長野県支部	



〒380-0836 長野市南県町1074
Tel.026-226-2073

日赤 長野県支部 検索

詳しくは、日本赤十字社長野県支部ホームページをご覧ください。

皆さまのあたたかいご支援・ご協力ありがとうございます。

令和元年台風第19号災害

長野県内に甚大な被害をもたらした台風第19号。日本赤十字社長野県支部では、発災直後から医療救護やこころのケアを展開し、被災者の皆さまに寄り添う活動を行いました。



日本赤十字社長野県支部活動実績

	総派遣人数 (令和元年10月13日～11月30日)	675人	・医療救護 / 486人 ・こころのケア / 143人 ・赤十字けんこう教室 / 46人
	毛布配布数	3,329枚	
	安眠セット配布数	619セット	
	義援金受付額	13億2,142万5,761円	(日本赤十字社受付分 / 令和3年1月末現在)



毛布 安眠セット 緊急セット

新型コロナウイルス感染症

私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症。県内施設やボランティアとともに感染拡大防止に取り組んでいます。



差別・偏見を生まない

青少年赤十字活動の一つとして、県内各地の学校で、感染症がなぜ差別・偏見に繋がるのかを学んでいます。ある学校では「感染した人や医療現場で働く人たちの気持ちを考えて、差別の言葉をエールに変えたい」と、応援の気持ちを込めたメッセージボードを作製し、医療施設に届けました。また、青年赤十字奉仕団は、医療従事者への感謝と感染予防を呼びかける動画を制作し、SNSで広く呼びかけています。



医療の最前線で

県内の赤十字病院では、関係自治体からの要請に基づき、病床や外来診療等の稼働を一部制限、感染防止対策を強化したうえで、診療にあたっています。



血液を待つ人のために

外出自粛等に伴い献血者の減少が顕著となる中、輸血を必要とする人のために、献血への協力の呼びかけを強化し、感染対策を徹底して、献血者の確保に取り組んでいます。

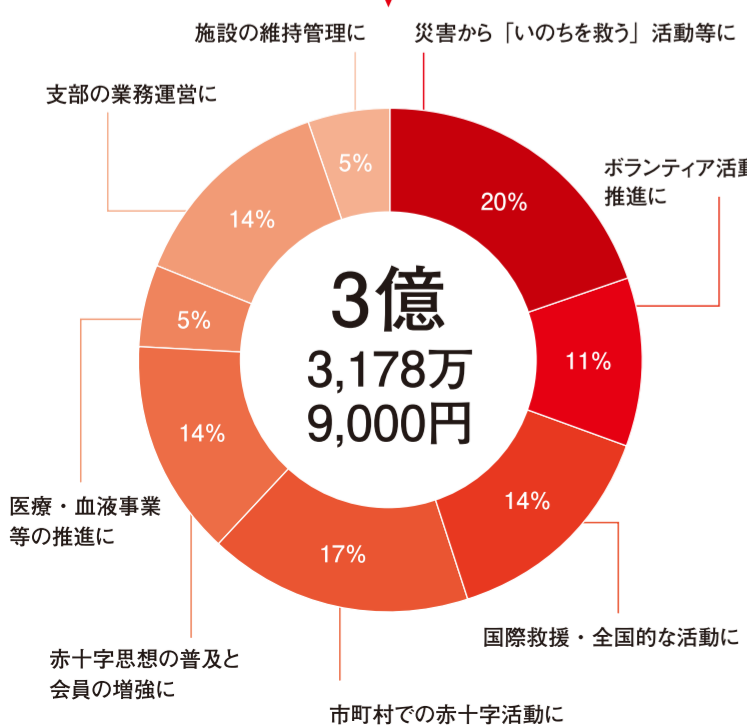


いま、私たちにできることを

全国的にマスクの入手が困難な時期に、地域赤十字奉仕団が「手作りマスク」を作製し、福祉施設等へ寄贈しました。また、コロナ禍においても、いざというときに備えるため、生徒一人ひとりが十分な距離を確保して、心肺蘇生等の実技を学んでいます。

日本赤十字社長野県支部の“いのち”を救う活動は、皆さまによって支えられています。活動資金へのご協力をよろしくお願いします。

令和3年度事業費総額



<p>万が一の災害に備えて</p> <h3>災害救護活動</h3> <p>地震・豪雨などの災害が発生した場合、医療救護班の派遣・救護物資の配布等さまざまな支援活動を行います。また、訓練・研修の実施、防災・減災意識の啓発にも努めています。</p>	<p>とっさの手当てがいのちを救う</p> <h3>救急法等の講習</h3> <p>県内各地で救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習会を開催し、健康や安全に役立つ知識と技術を普及しています。</p>	<p>未来を担う子どもたちに思いやりの心を</p> <h3>青少年赤十字活動</h3> <p>県内204校の加盟校では、長野県教育委員会と連携し、防災教育プログラム等を取り入れ、子供たちの「気づき・考え・実行する」力を育てています。</p>	<p>赤十字活動を支える大きな力</p> <h3>赤十字奉仕団活動</h3> <p>各市町村の地域奉仕団や専門知識・技術を持つ特殊奉仕団など92団、約28,000人の方々が県内各地でさまざまなボランティア活動を行っています。</p>	<p>人の痛みによく寄り添う看護を目指して</p> <h3>看護師養成</h3> <p>長野と諏訪の赤十字看護専門学校では、赤十字理念に基づいた教育を通じ、豊かな人間性を育み、看護に関する幅広い能力を備えた救護看護師を養成しています。</p>	<p>国際赤十字のネットワークを活かして</p> <h3>国際活動</h3> <p>世界192カ国の国際赤十字の一員として、シリア難民の支援、アジア・大洋州諸国の給水支援、東アフリカ地域の保健強化などに取り組んでいます。</p>
--	--	--	--	---	--

診療報酬等で運営しています

<h4>赤十字病院</h4> <p>県内6つの赤十字病院は、救急医療などを行い、地域医療を支えています。</p>	<h4>赤十字血液センター</h4> <p>輸血を必要とする人を救うため、献血を受け付け、安全な血液製剤を医療機関へお届けしています。</p>	<h4>赤十字乳児院</h4> <p>家庭で養育することが困難な乳幼児をお預かりし、健やかに育てるとともに、育児相談などの子育て支援も行っています。</p>
--	---	--

※病院、血液センター、乳児院はそれぞれ独立採算制で運営しています。